

主体的に考える力を育成する仕組み



# ~効果的な 授業設計から 評価まで~

2018年度  
首都大学東京  
FDセミナー

全学FD委員会では、アクティブ・ラーニング型授業を推進してきましたが、一方で、「どうすれば効果を生むアクティブ・ラーニングが実施できるか」「効果の測りかた、評価のしかたが難しい」といった声も聞こえてきました（2017年度アクティブ・ラーニング実施状況アンケートより）

アクティブ・ラーニングの手法を取り入れるには、まず、授業で「どのような知識や能力を獲得させるか」「獲得した知識や能力をどのように評価するか」といった授業設計が重要です。そこで本セミナーでは、インストラクショナルデザイン（授業をより効果的・効率的・魅力的にするための方法論）を活用した授業設計について学ぶとともに、学内における授業設計の工夫や、授業改善事例を共有し、個人の授業改善に取り組むきっかけに、また、各学部学科がカリキュラムの質保証について考えるきっかけに繋げることを目的とします。



**基調講演「インストラクショナルデザインを  
アクティブ・ラーニングに活かす」**  
**向後 千春 氏**（早稲田大学人間科学学術院 教授）

## 学内事例報告

- 「アンケート結果からみる本学のアクティブ・ラーニングの現状と授業改善の実践事例  
～基礎ゼミナールの授業設計の改善サイクル～」  
近藤 伸彦（大学教育センター 准教授）
- 「多摩地域を対象とした「観光科学 P B L」の実施～調査から計画提案に至る一貫した  
演習プログラムの構築～」  
岡村 祐（都市環境学部観光科学科 准教授）
- 「大人数講義における授業設計とアクティブ・ラーニングの考え方」  
樋口 貴広（大学教育センター 教授）

総合司会：陳 肇斌（法学部 法学科 政治学コース 教授・FD委員会委員）

**参加費無料・申込不要／学生を含む学内外すべての皆様にご参加いただけます**

※セミナー終了後、18:00から南大沢ルヴェソングヴェールにて懇親会を開催します。参加される本学教員や学外者の方は11/15(木)までに 事務局あてメールでご連絡ください。

開催日時

2018年11月29日（木）14:10開場、14:40開始

会場

南大沢キャンパス本部棟 1階大会議室 東京都八王子市南大沢1-1  
（京王相模原線「南大沢」駅 徒歩約5分）  
\*TV会議システムによる中継で、日野キャンパス1号館会議室 1～3・荒川キャンパス管理棟 2階大会議室からも参加できます。

お問い合わせ

首都大学東京FD委員会  
FD委員会事務局 教務課教務企画係 宮本・新谷

TEL : 042-677-2937（南大沢内線 1036）

E-mail : fdwww@tmu.ac.jp

HP : <http://www.comp.tmu.ac.jp/FD/> →→



- 14 : 40～14 : 45 〔開会挨拶〕  
山下 英明 副学長（大学教育センター長・FD委員会委員長）
- 14 : 45～15 : 45 〔基調講演〕  
「インストラクショナルデザインをアクティブ・ラーニングに活かす」  
向後 千春 氏（早稲田大学 人間科学学術院 教授）
- 15 : 45～15 : 55 〔休憩〕
- 15 : 55～16 : 40 〔学内事例報告〕  
①「アンケート結果からみる本学のアクティブ・ラーニングの現状と授業改善の実践事例  
～基礎ゼミナールの授業設計の改善サイクル～」  
近藤 伸彦（大学教育センター 准教授）
- 16 : 40～16 : 45 〔休憩〕
- 16 : 45～17 : 10 ②「多摩地域を対象とした「観光科学 P B L」の実施～調査から計画提案に至る  
一貫した演習プログラムの構築～」  
岡村 祐（都市環境学部 観光科学科 准教授）
- 17 : 10～17 : 35 ③「大人数講義における授業設計とアクティブ・ラーニングの考え方」  
樋口 貴広（大学教育センター 教授）
- 17 : 35～17 : 40 〔閉会挨拶〕  
上野 淳 学長

総合司会：陳 肇斌(法学部 法学科 政治学コース 教授・FD委員会委員)

※テレビ会議システムにより中継：日野キャンパス1号館会議室1～3、荒川キャンパス管理棟2階大会議室

## 講師プロフィール

向後 千春（こうご ちはる）氏 早稲田大学 人間科学学術院 教授

### 専門分野

- 教育工学：特に、eラーニング、インストラクショナルデザイン
- 教育心理学：特に、教授法、生涯学習、作文教育
- アドラー心理学：その実践と実証研究

1981年早稲田大学第一文学部（心理学専修）を卒業後、1985年同大大学院文学研究科修士課程（心理学専攻）を修了、1989年同大大学院同研究科博士後期課程（心理学専攻）単位取得退学。2006年に東京学芸大学において博士（教育学）を取得。1981年に日本タイムシェア(株)入社、1983年退社後、1986年に早稲田大学情報科学研究教育センター助手、2002年同大人間科学部助教授、2007年同大人間科学学術院准教授（名称変更）、2012年同大人間科学学術院教授となる。教える技術、インストラクショナルデザイン、アドラー心理学といったテーマの講演・研修・ワークショップを精力的に実施している。

主な著書は「世界一わかりやすい教える技術」、「教師のための「教える技術」」、ほか多数。